

総 社 市 水 道 事 業 の 概 要 及 び 経 理 の 状 況

【平成29年度決算見込み】

本市の平成29年度給水量(有収水量)は、6,692,586 m³で昨年度と比較して0.17%増加しております。

また、給水件数は23,348件で0.93%の増加となっております。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

主要事業といたしましては、安定給水を図るため、合併創設第1次変更認可事業、石綿管改良工事等を推進しました。

経理状況につきましては、別表2 損益計算書のとおりで、総収入につきましては、税抜きで総収益12億5千412万7千円(前年度13億9千204万6千円)で9.9%の減少となっております。これは、水道使用料金のうち基本料金の前取りを是正するため、第1期の基本料金を徴収しなかったこと及び一般会計からの繰入の算定方法を見直したことによるものです。

一方、総費用につきましては、税抜きで10億7千383万1千円(前年度11億2千636万9千円)で4.7%の減少となっております。主な要因としましては、給水管で使用されていた鉛管の取替工事及び岡山県広域水道企業団からの受託工事が完了したことが主な要因です。

この結果、当年度におきましては、1億8千29万6千円の税抜き純利益を生じる見込みであります。

今後においても、水道施設の計画的な整備と長期的展望にたった財政計画により経営の健全化に努めてまいります。

【平成30年度予算概要】

平成30年度の前算概要につきましては、業務の予定量として給水戸数26,220戸、年間総給水量7,499,000 m³を見込み、収益的収支につきましては、税込みで総事業収益13億9千590万円、安定給水に必要な総事業費用11億6千720万円を予定しております。

一方、資本的支出につきましては、継続して施工する必要のある水道施設整備費等として、

税込みで11億4千500万円の予算を計上しております。

事業運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 給水状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

区分	平成29年度	平成28年度	増減
給水件数(件)	23,348	23,134	214
給水人口(人)	65,449	65,155	294
配水量(m ³)	7,531,921	7,510,956	20,965
給水量(m ³)	6,692,586	6,681,382	11,204
有収率(%)	88.9	89.0	△ 0.1

2. 損益計算書（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位 千円）

項目	金額
(1) 営業収益	922,634
(2) 営業外収益	331,493
総収益 (1) + (2) A	1,254,127
(3) 営業費用	995,327
(4) 営業外費用	78,504
総費用 (3) + (4) B	1,073,831
当期純利益 A - B	180,296

3. 貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	12,066,428	固 定 負 債	2,793,703
流 動 資 産	1,631,965	流 動 負 債	571,325
		繰 延 収 益	4,439,190
		負 債 合 計	7,804,218
		資 本 金	4,372,767
		剰 余 金	1,521,408
		資 本 合 計	5,894,175
資 産 合 計	13,698,393	負 債 資 本 合 計	13,698,393

4. 企業債残高明細 (平成30年3月31日現在)

(単位 千円)

借 入 先	前年度末 残 高	平成29年度		本年度末 残 高	償 還 終 期
		借入額	償還額		
財 務 省	1,650,347	0	149,012	1,501,335	平成52年3月
地方公共団体 金 融 機 構	1,280,537	0	76,694	1,203,843	平成57年3月
吉備信用金庫	15,040	0	7,520	7,520	平成31年3月
中 国 銀 行	191,800	0	7,600	184,200	平成58年3月
合 計	3,137,724	0	240,826	2,896,898	

5. 平成30年度予算の概要

収 益 的 収 支

(単位 千円)

項目	金 額
(1) 営業収益	988,985
(2) 営業外収益	328,100
総 収 益 (1) + (2) A	1,317,085
(3) 営業費用	1,048,121
(4) 営業外費用 外	80,712
総 費 用 (3) + (4) B	1,128,833
当期純利益 A - B	188,252

資 本 的 収 支

(単位 千円)

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
企 業 債	300,000	建 設 改 良 費	899,500
分 担 金	59,947	企 業 債 償 還 金 外	245,500
工 事 負 担 金	29,800		
他 会 計 補 助 金	63,353		
計	453,100	計	1,145,000

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額6億9千190万円は、当年度分消費税及び

地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金で補てんするものとする。

総社市工業用水道事業の 概要及び経理の状況

【平成29年度決算見込み】

本市の工業用水道事業は、工業の振興と地域の発展に寄与することを目的として、昭和63年8月から、受水企業の一部に給水を開始し、当年度は、19社に対し契約水量2,000立方メートル/日で給水いたしました。

経理状況につきましては、別表1 損益計算書のとおりで、総収入につきましては、税抜きで総収益4千33万6千円（前年度3千937万円）で2.5%の増加となっております。これは、給水収益のうち基本水量を超過した水量が前年度に比べ約13,000m³増加したことによる超過料金の増が主な要因です。

一方、総費用につきましては、税抜きで2千305万4千円（前年度2千316万3千円）で0.47%の減少となっております。

この結果、当年度におきましては、1千728万2千円の税抜き純利益を生じる見込みであります。

今後においても、安全・安定給水を図るとともに、計画的に施設の更新を実施することにより、事業の安定化に努めてまいります。

【平成30年度予算概要】

平成30年度の予算概要につきましては、受水企業19社、年間総配水量73万立方メートル、1日平均給水量2,000立方メートルを見込み、収益的収支につきましては、税込みで総事業収益4千140万円、総事業費用2千990万円を予定しております。

一方、資本的支出につきましては、企業債の償還金等として、税込みで530万円の予算を計上しております。

事業運営に当たりましては、引き続き効率的な経営に努め、事業の安定化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1.損益計算書（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位 千円）

項目	金額
(1) 営業収益	34,208
(2) 営業外収益	6,128
総収益 (1)+(2) A	40,336
(3) 営業費用	22,698
(4) 営業外費用	356
総費用 (3)+(4) B	23,054
当期純利益 A-B	17,282

2. 貸借対照表（平成30年3月31日現在）

（単位 千円）

項目	金額	項目	金額
固定資産	264,547	固定負債	82,388
流動資産	201,742	流動負債	4,311
		繰延収益	64,379
		負債合計	151,078
		資本金	210,809
		剰余金	104,402
		資本合計	315,211
資産合計	466,289	負債資本合計	466,289

3. 企業債残高明細 (平成30年3月31日現在)

(単位 千円)

借入先	前年度末残高	平成29年度		本年度末残高	償還終期
		借入額	償還額		
地方公共団体 金融機構	40,000	0	0	40,000	平成42年3月
中国銀行	35,000	0	0	35,000	平成43年3月
合計	75,000	0	0	75,000	

4. 平成30年度予算の概要

収益的収支

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	34,352
(2) 営業外収益	5,897
総収益(1)+(2) A	40,249
(3) 営業費用	25,556
(4) 営業外費用外	3,053
総費用(3)+(4) B	28,609
差引 A-B	11,640

資本的収支

(単位 千円)

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
工事負担金	200	建設改良費	1,000
		企業債償還金外	4,300
計	200	計	5,300

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額510万円は、当年度分消費税税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金で補てんするものとする。

